

徳島県の重要要望



徳島小松島港「赤石地区」

令和6年2月7日

徳島県

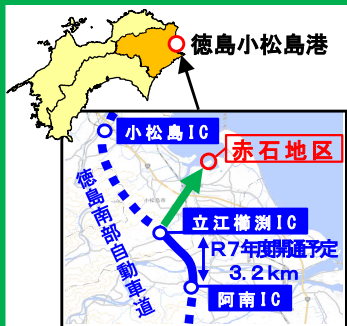
徳島小松島港「赤石地区」の岸壁延伸等による機能強化について

【徳島小松島港「赤石地区」の状況】

平成23年に国際物流ターミナルが全面供用し、国際定期コンテナ航路と国際フィーダー航路が就航するとともに、本県における国際海上物流及び貿易拠点として、地域産業の国際競争力強化のために重要な役割を果たしている。

- ① 貨物量の増加に加え、船舶の大型化や同時着岸に伴う岸壁延長の不足にも対応するため、国際物流ターミナルの岸壁の延伸を図ること。
- ② 3隻同時荷役を実現するため、ガントリークレーンの新規整備に必要な予算を確保すること。

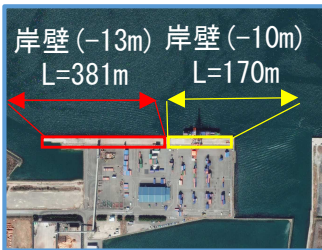
徳島小松島港「赤石地区」



徳島県の貿易拠点

国際物流ターミナル
(平成23年3月全面供用)

国際競争力強化に
重要な役割



大型クルーズ船
寄港地



貨物船 (チップ船)
輸入基地



コンテナ船
週3便就航



貨物量の増加 (見込み)

■コンテナ貨物量

約1万6千TEU/年増加

- ・日亜化学、四国化成、阿波製紙など生産体制の増強
- ・2024年問題によるモーダルシフト需要

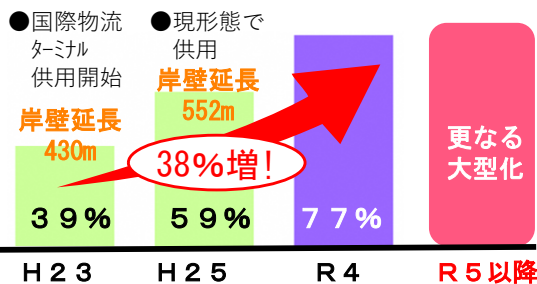
神戸港経由の国際フィーダー航路の更なる利用
(井本商運などによる新たな航路就航の意向)

■木材チップ量 約45万トン/年増加

王子グリーンエナジーなど 【バイオマス発電所】

船舶の大型化

船長199.9m以上の入港割合



船舶同時着岸状況



荷役機械の老朽化



- ①岸壁 (-13m) の延伸 L=80m
- ②ガントリークレーンの新規整備 (県)

期待される整備効果

魅力度UP

- 3隻同時荷役の実現
⇒ コンテナ船・貨物船の増便・大型化に対応
- 大型クルーズ船寄港時
⇒ コンテナ船の同時係留が可能
- 海上輸送へのモーダルシフト
⇒ 2024年問題 (ドライバー不足) に対応

安心度UP

- 係留ロープの交差等が解消
⇒ 安全で効率的な荷役が可能



地域産業の国際競争力の維持・強化が実現!